



# manaba®の活用法

鹿児島大学 FD 委員会 FD ガイド WG

【発行 / 2018年12月】

## manabaを活用した基礎学力向上と自発学習促進の試み

鹿児島大学 共通教育センター 大野裕史

manaba は教育の効率化および個別の学生へのより細やかな対応を可能とする「ICT ツール」です。アクティブラーニング同様あくまで教育の道具であってこれを使うことが目的ではなく、使うことで教員の負担が減り、学生の学習への取り組み方の幅が広がるものです。一例として筆者が授業内で試みている manaba の活用法をご紹介します。

### 基礎学力向上 (授業支援ボックス)

manaba には小テストやレポートなどの課題を提出・回収する機能が豊富です。課題ごとに採点をすれば自動で成績を統合するので総合成績を計算する教員の負担を大幅に減らせます。また学生に個別にコメントを入れるだけで学生の意欲が大きく向上するので大いに活用いただきたいと思います。

しかしこれまで manaba 単独では課題はオンライン記述あるいは電子ファイル添付に限られており、紙のレポートには対応していませんでした。理工系では数学のドリルなど、どうしても紙に書かせる演習が基礎学力向上のために必要です。文系であっても同様の要望はあると存じます。

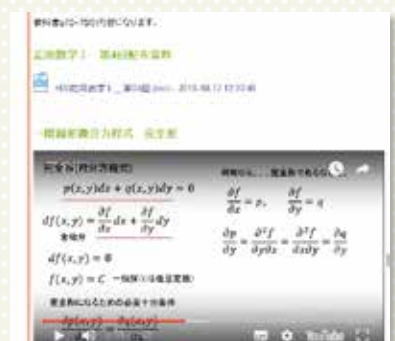
これに対応してくれる授業支援ボックスというシステムが平成 30 年度後期より教務課教育企画係に設置されました。学生は学籍番号記入欄の示された書式の用紙に課題を行います。教員は通常通りに添削・採点を行い、授業支援ボックスにてスキャンすれば課題の電子化 (PDF 化) から成績の入力まで全て自動で行われ manaba にアップロードされます。教員の負担軽減、学生へのフィードバック、大変便利な機能です。



### 自発学習促進 (反転授業)

反転授業とはアクティブラーニング手法の一つで、学生は授業の前にオンラインビデオなど電子化された講義を受講し、実際の授業時はグループディスカッションやドリルなど自発学習へ取り組むというものです。AL を行うと授業で伝達できる情報量が減少するという問題に対する一つの回答です。

私は数学の授業でこれを取り入れています。以前は自分でホームページを立ち上げ、そこに動画のリンクを貼り、と授業準備の負担は大きいものでした。manaba のコンテンツ機能を使うとこれらも簡単に実



11号

12号

13号

14号

15号

16号

17号

18号

19号

20号





現できます。ただし動画の貼りつけは HTML のコードを直接書き換えるのではなく、添付ファイルの外部動画埋め込みを選ぶことに注意して下さい。

私は学生が食事時間や通学途中などちょっと空いた時間に気軽に学習できるよう 1 動画当たりの時間を 10 分以下（授業 1 コマで 2～3 動画）、スマートフォンで視聴しやすいようプレゼンテーションソフトの録画機能を使った動画、一度に大量の学生が視聴することを考慮して動画サーバとして youtube の限定公開を利用しています。

## 最後に

大学教育改革が叫ばれ、従来の講義形式の授業から AL の導入など授業形態の変革が求められています。さらに多様化する学生への対応など、大学教員の教育への負担は飛躍的に増大しています。それら負担を軽減し教育効果を向上させるための manaba の活用法をとりあげさせていただきました。

私は大学教育は「アクティブラーニングであれば良い」ではなく、講義（教授）、演習（定着）、AL（思考・創造）がバランスよく配置されるべきであると考えています。manaba はそれを助けてくれる道具です。ぜひご活用ください。

大学人全てが研究・教育・学習を happy に enjoy できますように。

## LMSについて何も知らない私がmanabaを使ってみた ——「コースニュース」を使うだけでもメリット大

鹿児島大学 共通教育センター 渡邊弘

「むーどる？なにそれおいしいの？」という状態だった私が、本学での manaba 導入の話を聞いたときの反応は、「あ、これも私とは関係のない話だ」というものでした。

しかし一方で、150 人以上の授業で予習課題を印刷し、教室に運び、学生に配布し、それを回収する、という作業を毎週続けることについては、大学教員生活十数年、そろそろなんとかしたいと思っていました。しかも、私の予習課題は分量が多く、教室へ持って行くだけでも一苦勞です。「郡元キャンパスで台車を押して歩いている人がいたら、おそらく私」と言えるぐらいでした。

ところが、manaba にログインしてみると、「コースニュース」というしくみがあります。この機能を使えば、授業に関して学生にいろいろお知らせすることができる、とのこと。しかもそこでは、添付ファイルも配布できるということでした。

これなら、今までは印刷して配布していた予習課題を、PDF ファイルにしてアップロードするだけでよい、いちいち印刷室にいかなくても自分の机で作業が完結するじゃないか、と思い、試しに試してみることにしました。

現時点では、予習課題の配布にしか活用できていませんが、それだけでも業務負担はかなり楽になりました。欠席した学生やプリントをなくした学生への対応を個別にする必要もありません。

加えて、授業で学生から出された難しい質問に対しても、いったん研究室へ持って帰って調べ直した上で、正確な回答をすることができます。参考となるウェブサイトのリンクを張ったり、参考文献を書影付きで紹介したりすることも可能です。しかも、「コースニュース」上で回答すれば、質問してきた学生だけでなく、受講生全員が回答を共有できます。

初心者でも「コースニュース」ならすぐ使える。今では自信を持っておすすめできます。

※manaba は株式会社朝日ネットの登録商標です。

### 【鹿児島大学FD委員会FDガイドWG】